



## 南三陸町の豊かな海の幸を満喫

11月29日(土)と30日(日)の2日間、今年で5年目となる「牡蠣ツアー」が開催され、東京から35名のツアー客が南三陸町を訪れました。

このツアーは、町の夢大使である遠藤恭子さんと大橋強さんが中心となって企画しているもので、友人などへの口コミでツアー客を募集しました。

菊の栽培や味噌づくりなどを見学したほか、メイン行事となっている船上での牡蠣揚げ見学や牡蠣むき体験をし、バーベキュー大会では新鮮な海の幸を満喫しました。



遠藤恭子さんは「両親をはじめ、地元の方の協力なしには成り立たないことばかりをさせていただいており、大変感謝しています。これからも、自分の故郷の良さをたくさんの人に知ってもらえる機会を生み出していきたいと思います。」と話していました。



## 郷土の伝統を引き継ぐ

12月7日(日)、スポーツ交流村文化交流ホールで、「第6回子どもたちの郷土芸能発表会」が開催され、それぞれの地域に伝わる郷土芸能などを披露しました。

この日は、「行山流水戸辺鹿子踊」、「入谷打囃子」、「戸倉小心輪海」、「ウタちゃんソーラン」、「大森創作太鼓旭ヶ浦」の5団体が参加し、総勢142名の子どもたちが日ごろの練習の成果を披露しました。大人顔負けの演技に、満員となった会場からは、大きな拍手が送られました。

## 日本の伝統文化「しめ縄づくり」

12月12日(金)、歌津中学校体育館において、全校生徒を対象にした「しめ縄づくり体験」が行われました。この体験は、しめ縄づくりを体験することにより、日本の伝統文化を引き継いでいくことの重要性を学ぶことを目的としており、伊里前地区老人クラブから、4名の講師を招いて行われました。

神聖な行事であるという説明を受けた子どもたちは、みんな真剣な表情で取り組んでいましたが、うまく「なわない」ができると、笑顔を見せて嬉しそうにしていました。



## 職場体験を通じて！

昨年の10月、戸倉中学校2年生の全生徒が、町内の様々な事業所で職場体験をしましたが、職場体験を通じて感じたことや学んだことを発表する報告会が、12月4日(木)、戸倉中学校で開催されました。

発表は、パソコンで編集したものをスクリーンに映して行われ、実際の職場で働いてみた感想や自分の将来の展望などを、素直な表現で発表しました。

昼食時間は、この日参観した父兄との合同給食となり、お互いに少し照れたようでしたが、和やかな雰囲気と一緒に給食を食べていました。



## 南ちゃん通りでクリスマスイベント

12月13日(土)午後4時から、志津川地区の南町にある通称「南ちゃん通り」で「南ちゃん通り楽しいクリスマス」が開催されました。

色鮮やかなイルミネーションで飾られた通りの中央には、約3.5メートルのジャンボツリーが設置され、集まった子どもたちは、サンタさんへの願い事を枝に結び付けていました。また、出店や地元アマチュアバンド「ツー・シックス」によるミニライブも会場を盛り上げ、一足早いクリスマスを楽しむお客さんで賑わっていました。



## 入谷小学校落成記念式典

11月30日(日)、入谷小学校落成記念式典が同校体育館で開催され、PTA関係者や工事関係者など、約200人が出席しました。

入谷小学校は、平成19年の10月に本体工事は完成していますが、このたび、敷地整備の工事が完了したことにより、記念式典を開催したものです。

校舎の内装には、地元の木材がふんだんに使用され、「入谷らしさ」を十分に表現した造りとなっています。

式典終了後には、4年生から6年生の子どもたちによる入谷打囃子も披露され、めでたい式典に華を添えました。